

第 15 回大磯ロングビーチ・ファミリートライアスロン大会 (2020)

競技運営マニュアル

【TO(テクニカル・オフィシャル)用】

第 1.6 版

作成者	鈴木 陽輔
作成日	2020 年 7 月 19 日
最終更新日	2020 年 9 月 6 日

目次

第 15 回大磯ロングビーチ・ファミリートライアスロン大会 (2020).....	1
目次	2
競技運営スタッフのみなさまへ.....	3
競技運営体制.....	3
集合時間・場所	3
競技カテゴリー	3
競技距離	3
競技制限基準タイム	4
スケジュール.....	4
駐車場オープン	4
選手受付	4
バイク試走	4
開会式.....	4
各競技スケジュール.....	4
トランジションオープン時間	5
ドレスコード / 持ち物	5
注意事項	6
新型コロナウイルス感染症(COVID19)感染防止対策 本大会方針.....	6
TO としての心得.....	7
緊急時の対応.....	7
スタートプロトコルについて」	7
選手用マスクについて	8
ちびっこファミリーの部について	8
審判団の担当業務.....	9
TO 共通事項.....	9
各担当業務	9
別紙参考資料.....	13

競技運営スタッフのみなさまへ

このたびは、本大会の競技運営にご参加いただき、ありがとうございます。
 参加案内およびボランティアマニュアルと合わせて、事前に内容をご確認いただきますようお願い申し上げます。
 ことに、本大会では、**感染症予防対策**が必要となります。(JTU 感染症対策指針に基づいて行います。)
 また、今大会より公式競技との整合性のある**スーパースプリント**、**ウルTRASーパースプリントディスタンス**
 を導入いたします。したがって折り返しの移動を伴う、**コース距離転回作業**が発生することにご留意ください。
 TO は、各チームが発信するパート運営マニュアルと合わせて、各自、業務内容の確認をお願いいたします。

競技運営体制

大会実行委員長	高崎 聡
チームリーダー (TL)	海野 浩
技術代表 (TD)	鈴木 陽輔
審判長 (HR)	墨 さち枝
大会本部	杉浦 真由美
COVID-19 対策委員長	小金澤 光司

集合時間・場所

競技開催日

2020年9月20日(日)

集合時間・場所

- ◆大会前日(9/19 土) TL、TD、HR、各パートチーフ・サブチーフ、本部
 - ・集合時間 12:00 (～17:00 完了予定)
 - ・集合場所 大磯ロングビーチ大会本部 (流れるプール脇フィニッシュエリア)
 - ◆大会当日(9/20 日)
 - ・集合時間 5:45 / 大会実行委員長・TL・TD・HR・本部 6:00 / その他 TO
 - ・集合場所 大磯ロングビーチ大会本部 (流れるプール脇フィニッシュエリア)
- * 前日・当日の緊急連絡先 : 090-8485-0022 (杉浦 真由美)

競技カテゴリー

1. 競技距離

カテゴリー	距離構成
1. 一般の部(高校生以上) *スーパースプリント ディスタンス	Swim 375m, Bike 10km (6 周), Run 2.5km (2 周)
2. 一般チャレンジの部(高校生以上)	Swim 200m, Bike 5km (3 周), Run 1.25km (1 周)
3. ジュニア(中学生) *ウルTRASーパースプリント ディスタンス	
4. キッズ4年～6年の部 キッズ4年～6年の親子の部	Swim 100m, Bike 3km (2 周), Run 1km (1 周)
5. キッズ1年～3年の部 キッズ1年～3年の親子の部	Swim 50m, Bike 1.5km (1 周), Run 1km (1 周)
6. ちびっこファミリーの部	Swim 15m, Vehicle 150m, Run 50m

*全競技において	当日の天候、水温等により競技内容の変更(デュアスロン化)等の変更がある可能性もあります。(別途コースデザイン 参照)
----------	--

2. 競技制限基準タイム

カテゴリー	制限基準タイム
一般の部(高校生以上)	1時間30分
一般チャレンジの部、ジュニアの部	1時間
ちびっこファミリーの部&キッズの部	制限基準タイムなし

スケジュール

1. 駐車場オープン

7:00～

2. 選手受付

7:15～8:00 (高校生・一般は～10:30まで)

3. バイク試走

7:35～8:05 (30分間)

4. 開会式

8:05～8:20 放送のみ

5. 競技スケジュール全般

スイムスタートは、1名ずつのローリングスタート(ファミリーの部を除く)です。(バトル密集を防ぐため)
 以下ローリングスタート終了時刻は8秒間隔、カテゴリー間30秒で端数切り上げ計算です。(6秒はせわしいという情報あり)
 下記に収まることを目安に、スタート間隔及びカテゴリー間時間は必要に応じて現場判断してください。計測には影響しません。

6. キッズ1年～3年の部 男子個人(45名) 集合時間 8:20

3年 男子 スタート時刻	8:35～ローリングスタート
2年 男子 スタート時刻	～
1年 男子 スタート時刻	～8:42 終了予定

7. キッズ1年～3年の部 女子個人(25名)および親子(8名) 集合時間 8:40

1年～3年 女子個人 スタート時刻	8:50～ローリングスタート
1年～3年 親子 スタート時刻	～8:55 終了予定

8. キッズ4年～6年の部 男子個人(63名) 集合時間 9:10

5年～6年 男子 スタート時刻	9:20～ローリングスタート
4年 男子 スタート時刻	～9:29 終了予定

9. キッズ 4年～6年の部 女子個人(30名)および親子(6名) 集合時間 9:30

4年～6年 女子 スタート時刻	9:40～ローリングスタート
4年～6年 親子 スタート時刻	～9:46 終了予定

10. ジュニア(中学生)(37名)&一般チャレンジ(10名) 集合時間 10:10

ジュニア スタート時刻	10:20～ローリングスタート
一般チャレンジ スタート時刻	～10:27 終了予定

11. ちびっこファミリー(74名) 集合時間 11:00

5～6歳 男女 スタート時刻	11:10(一斉)
4～(一部)5歳 男女 スタート時刻	11:15(一斉)
3～(一部)4歳 男女 スタート時刻	11:20(一斉)
0～2歳 男女 スタート時刻	11:25(一斉)

12. 一般(74名)(高校生(7名)以上) 集合時間 11:20

一般(高校生以上) スタート時刻	11:35～11:47 スタート終了予定
------------------	----------------------

13. 表彰式

◆表彰式 放送による成績発表といたします。

13. 閉会式

13:00～ 放送のみ

14. トランジションオープン時間

- ◆第1回 7:15～8:20 (8:20～9:05 まで閉鎖)
- ◆第2回 9:05～9:20 (9:20～10:05 まで閉鎖)
- ◆第3回 10:05～10:20 (10:20～10:50 まで閉鎖)
- ◆第4回 10:50～11:20 (11:20～12:10 まで閉鎖)
- ◆第5回 12:10～13:00

ドレスコード/持ち物

- ・JTU 公認審判員(白黒)ポロシャツ、黒のスラックスまたは膝上までの半ズボンを着用。
- ・黒のスニーカー・ランニングシューズ等、動きやすいシューズ着用。(配置に応じて対応)
- ・サングラスは色の薄いものは使用可能。
- ・雨天の際、傘の使用は不可、JTU 公認審判員ポロシャツの上に透明のレインコートあるいは、同ポロシャツの下に黒または、白のレインウェアを着用のこと。
- ・帽子は JTU 公認白帽子を基本とする。(配置に応じて、スイムキャップ等を使用の場合も。)
- *感染症対策装備 : **不織布**マスク着用、不織布マスクは各自用意のこと。対面業務の一部は、フェースガード支給。
- *熱中症防止対策のため:交代休憩等、自身の体調管理をすること。
- *選手の持ち物、バイク等に触れる必要がある場合は、ビニール手袋をしてかつ都度、手袋表面を洗浄または消毒のこと。

持ち物

- ・ルールブック、公認審判員資格証、ホイッスル、筆記用具、携帯電話等を持参のこと。
- ・スマートフォンランシーバーアプリ“Zello PTT Walkie Talkie”（無料アプリ：Google Play、App Store でインストール可能）を紹介し、当日、通信グループ登録が必要です。通信容量余裕やバッテリー性能の確認のうえ、補助バッテリーなどがあると安心です。

*自己防衛のため塩タブ給水瓶等確保（他の人と共有は厳禁）補給食等も衛生に注意してください。

注意事項

1.新型コロナウイルス感染症（COVID19） 感染防止対策 本大会方針（JTU 指針準拠）

本大会は、新型コロナウイルス感染拡大後、一般アスリートを迎えて行うトライアスロン大会として最初のものとなります。必要十分な対策を実行して、大会開催が、可能であることを内外に示す役割があります。そのためには、スタッフの日常生活での感染防止の常識を駆使していただくとともにさらに厳密な対応をお願いします。

- ①万が一新型コロナウイルス感染が発生した場合に備え、すべてのスタッフ、参加者の情報を保存しておく。
 - *大会当日検温ゲートを設ける。住所・氏名・連絡先を記入した健康チェックシートに当日の体温を記入し受付に提出
 - *スタッフは集合前、出席確認時に本部へ提出。
 - *健康チェックシートは大会後、1か月保管その後個人情報保護を守って廃棄。）
 - *大会後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症または検査陽性となった場合は KnTU に必ず連絡する。
- ②会場すべてに、ソーシャルディスタンスを保った導線を確保するように、コース作成、誘導コントロールをする。
- ③以下の場合参加を見合わせる。見合わせを求める。
 - ・体調がよくない場合。同居家族や近親者に感染が疑われる方がいる場合。観察期間を必要とされている国、地域から帰国後、14日を経過していない場合。
- ④選手以外の観客、応援者は、キッズ・ジュニアは2名、そのほかの選手は1名限定とする。
- ⑤人との距離は2m を基本に、応援スペース等には、それが(2m)わかるマーキング等をする。接近している場合は注意を呼びかける。
- ⑥不織布マスクまたはフェースシールドの着用は必須とする。（ただし、高温下での業務においては適宜休憩交代を行い、熱中症の予防をする。自分の体は自分で守る(感染の危険、熱中症など)意識を持つ。）
- ⑦選手の体や持ち物に触れる場合は、使い捨ての手袋を着用する。（ただし頻度が多い場合は、手袋上のアルコール消毒または石鹸洗浄でも可とする。：破れ破損時は速やかに交換のこと）
- ⑧トランジションの設営に際し、バイクラックを消毒用エタノールで清拭する。
- ⑨トイレには、薬用石鹸を配置する。消毒用エタノールは各要所に目につくように配置する。
 - *繰り返しエタノール消毒を行うよりは、石鹸、流水を行い付着物(ウイルス)を直接、洗い流すことのほうが、効果が高いことを意識する。（消毒で無効化してもウイルス本体は手に残っていることから）→定期的に手洗い実行のこと。
- ⑩参加者への注意喚起
 - *TO からの注意喚起は発声ではなく注意カード提示(ルールブック大)を基本とする。
 - *「三密」の回避、ツバやタンを吐かない、タオルなどを共用しない、飲料の回し飲みはしない、大声での声援、指導などは行わない。などの不衛生行動に関しては、啓蒙、注意喚起を行う。（家族内でのこと、など柔軟に判断し丁寧に説明のこと）
- ⑪大会運営側の準備、情報共有関連
 - ・前日体温測定と受付前検温ゲートでの現地体温測定を行いどちらかが 37.5 度以上の場合はメディカル受診必須とする。
 - *37.5 度以上の場合、会場内への入場を禁止する。選手は参加辞退を勧告します。
 - *幼児、低年齢児は基礎体温が高いことがあるので、メディカルに相談(ゲート担当者は、事前に打ち合わせておくこと)
 - ・受付:対面にビニールカーテンを用意し直接の接触を避ける。消毒エタノール配置

- ・上記①の健康チェックシートを提出し出場可能となった選手及び同行者はリストバンド輪ゴムをつけて区別する。
- ・選手への提供物(レースナンバーカード、ナンバーシール、スイムキャップなど)は受付で健康チェックシート提出時に配布をする。(アンクルバンドを除く)スタート前に着用してきた、使い捨てマスクは、スタート前に廃棄回収(衛生管理物)
- ・競技説明会:事前にオンライン説明会を用意。当日はアナウンスで行う。
- ・開会式、表彰式、閉会式:アナウンスのみで行う。
- ・スタート:密を避けた配置で招集整列を行う。
- ・トランジション:最低1m(ラック:8台掛け→5台掛け)の距離をとる。手指消毒場所確保
- ・バイク、ラン:対面の距離をできるだけ取れるコース作りを行う。
- ・エイド:コップの手渡しはしない。使用済みコップはビニール袋をセットしたゴミ箱に確実に捨てることを義務づける。
水の提供者とゴミの回収者を分ける(早めに袋を縛ってゴミの拡散を防ぐ。)手指消毒場所確保
- ・人が触れる場所を中心に定期的にスタッフが、消毒作業を行う。
- ・試行として、ドローンによる大会記録映像撮影を行います。周知ください。(施設内飛行許可済、天候による中止あり)

2. TO としての心得

- ・TO は、尋ねられる。(カテゴリーごとのスタート地点、折返し地点、周回数についてよく確認を促すこと。)
- ⇒集合時間、スイムスタート地点(カテゴリーごとにスタート地点を移動して距離を調整しています。)、バイク・ランの周回数
トイレ、更衣室、待機場所(プールサイドの参加者エリア)トランジションオープン時間等答えられるように準備しておく。
*大会募集要項、選手最終案内はよく読んでおくこと。
- ・TO は見られている。
- ⇒挨拶を率先して行いましょう。業務以外の写真撮影は禁止です。
- ・持ち場で起こりえる、トラブル、それに対する対処について事前にシミュレーションしてください。
- ・感染症に対して、大会運営は出来る限りの対策を講じますが、その予防、拡散防止は参加者の行動に頼るところが大きいです。(主催側としては、情報の正確で正しい収集、発信を行います。個人の発症に関しては免責対応を致します。)
TO スタッフは不安全(不衛生)行動に対してははっきりと、丁寧に指導、説明をお願いします。

3. 緊急時の対応

- ・安全は全てに優先します。
- ・傷病者を発見した場合は、他の選手への2次災害防止措置を速やかに行う。
- ・レースナンバー、選手の状態(意識、ケガの状況)、場所、時間を大会本部へ連絡する。
- ・意識がない、出血多量等、重症な場合は速やかに本部へ連絡する。
- ・意識がなく、呼吸も止まっている場合は、119番通報し、本部へ無線連絡する。(傍のTOと役割分担が望ましい)
- ・救急車到着まで、速やかに救命心肺蘇生(CPR)処置を行う。ただし感染防止対策のため
人口呼吸 MM 法は行わず心臓マッサージと AED のみとする。←(日本救急医療財団指針)

[連絡先] 無線：大会本部 または 090-8485-0022 (杉浦 真由美)

4.本大会はファミリー志向の大会。キッズおよび初心者が多く参加します。

- ・質問には、丁寧に回答する。
- ・迷っている選手には、積極的に声掛けを、ルールを知らない選手には丁寧に説明する。
- ・キッズの部では、保護者に回答するのではなく、キッズへ向けて回答するようにする。
- ・選手、保護者、応援者をコントロールし、トラブルの無いように留意する。
- ・キッズのスポーツに対する自主性がはぐくまれるように、保護者に対して丁寧に説明する。
- ・初心者の方のフィニッシュを積極的にサポートする。遅い選手が競技を続けていて本人に完走の希望がある場合
TD、HR へ連絡ください。相談の上、安全が確保される範囲で競技を継続させ、フィニッシュへ導きます。

5. スタートプロトコルについて (現場=スイム、進行共有=全パート)

スイムスタートはプールサイドに設置したマットをスタートして入水地点(各カテゴリーごとに設置)より1名ずつのローリングスタートを採用します。アンクルバンドによる自動計測のため、スタート合図と計測は非連動です。

スイムウォーミングアップは、整列地点から後方にウォーミングアップ地点を設置します。低学年等寒さを感じやすい年代には、無理をしないように指導をお願いします。

6. 選手用マスクについて (現場=スイム、フィニッシュ)

選手は、スイムスタート直前まで**使い捨て可能な不織布マスク**を着用することを義務づけます。未就学児は不要。

スイムスタート直前に専用ゴミ袋(要管理)に確実に自身で投入するように指導してください。

フィニッシュ後エイドボトルと**新しいマスク**を渡しますので速やかに装着するように指導してください。

途中棄権者はフィニッシュ地点に行けばマスクをもらえることを伝えてください。移動には人込みを避けて状況に応じて案内してください。

7. ちびっこファミリーの部について

◇選手、伴走者、応援者すべての方に楽しんでいただくカテゴリーです。TOも笑顔で対応をお願いします。

- ・ちびっこ(未就学児)以外の方は全てマスク着用必須です。
- ・**ゾーニング指示は致しません。“のりもの”スタート待機エリアにできるだけ間隔をとって待機して頂きます。**
- ・業務を事前に明確化する。(全スタート完了後、移動に伴って手薄になる地点には随時補助をお願いします。)
- 水中スタート待機、スイムフィニッシュエリアの整理(密集調整) ⇒スイム担当
- のりものスタート地点誘導(乗り物+ちびっこ&伴走者+応援者) ⇒スイム担当
- コース監視 ⇒ラン担当
- 乗り物下車地点での乗り物整理 ⇒トランジション担当
- ・ラン 最低2名、スイム、トランジション各最低4名のTO応援(アサイン)をお願いします。

8. キッズ(&保護者)の部について

◇キッズ選手でも自立した一人の競技者として対応。

- ・バイクセッティングについても、競技ルールについてもわかりやすく説明する。
- ・一貫した審判員の姿勢で、保護者には毅然と対応していく。
- ・キッズのルール違反を排除することによって事故に発展する危険性を排除する。
- ・レース中の注意喚起は、具体的にわかりやすい言葉を使う。

9. 大会中に使用できるトイレについて

- ・第1駐車場からトランジションエリアに向かって、トランジション手前右のトイレ
- ・流れるプール脇のプリンスホテル駐車場へのアプローチ地点にあるトイレ

10. その他の注意事項

- ・ウェットスーツ着用可(なしでもOK)。
- ・競技者以外のトランジションエリア内への立入禁止(ご家族、応援の方でも入場できません。)
- ・バイク競技でのペットボトル使用禁止(バイクにセットするボトルのこと)。
- ・競技者の競技中の撮影行為(オンボードカメラ等)やヘッドホン使用の禁止。

11. 地震発生時の津波避難について

- ・ 津波警報が発令された場合、大磯プリンスホテルへ避難(選手等誘導)してください。

審判団の担当業務

1. TO 共通事項

■TO ミーティングへ基本全員参加のこと

- * (公共交通機関始発都合等で遅れる場合は、事前連絡、突発的遅延も電話で本部へ連絡のこと)

- 1) 競技前(6:00～)のTO ミーティングへの参加(留意点等の確認)
- 2) 競技終了後のTO ミーティングへの参加(審判結果報告)
- 3) 当日の天候、水温等により競技内容の変更(デュアスロン化)の可能性を周知してください。

■運営関連

- 1) 配置についたらコースを設営。競技実施(選手目線)の視点でコーンや案内板のセッティングをする。過去の事故多発地点においては、スピードの出しにくいコース設定を行う。
例)バイク下り箇所:下りながらカーブしていくため、オーバーランや転倒多発地点
→内側に切れ込むと速度が出てしまうためコーン等でカーブ前の走路の絞り込みを行うなど
- 2) コーン配置案は、各パートチーフによりレイアウト案を先に提出して頂き、全体調整(コーン数割振り等)を行い決定いたします。(ただし現場状況による調整は各パートチーフの判断で可とします。)
- 3) TOの昼食については、各パート業務の終了後を基本とします。
- 4) 次年度大会参考のため、コーン設置状況の写真等をTOレポートに含めて報告してください。

■競技関連

- 1) 注意/警告に該当するルール違反選手については、その内容とレースナンバー、時刻、場所を詳細に記録し、審判長(HR)に報告して裁定を待つ。
- 2) 計測はアンクルバンドで行う。(ちびっこを除く)個人の周回確認は、自己責任で行うように指導してください。
- 3) リタイア時の対応はレースナンバーと氏名を確認しアンクルバンドを回収する。レースナンバーとリタイア理由とともに、各チーフ、サブチーフまたは大会本部にアンクルバンドを返却する。受け取ったチーフ、サブチーフは本部へリタイア速報情報を無線で報告する。
- 4) JTU 競技規則及び大会ローカルルールに従い競技する。
- 5) 「大会運営マニュアル」は大会前に配布のため、大きく相違しない場合、既記載内容の修正を行いません。また、天候の急変等で競技内容変更等、最新情報がある場合は、現場で情報共有をお願いします。
- 6) 原則、各パートチーフはパート全体管理、把握、対応判断を行い、サブチーフは、各種情報伝達等現場での実行リーダーとします。

2. COVID19 対策委員会

- リーダー：小金澤 光司
- 対策委員：猪俣 位
- 対策委員(女子対応含む)：三井はるみ(兼任)

上記、特別対策委員によって、全員：アスリート、観客(家族)、スタッフTOの衛生行動の注意・指導を行います。(JTU 新型コロナウイルス(COVID19)感染防止対策指針に準拠)

***全員**

6~7 ページ:「本大会における行動指針」を必ずご覧ください。常に念頭において活動をお願いします。

3. 審判長 (HR)

○墨 さち枝

- 1) 審判団の統括
 - 2) TO ミーティングの招集と統括
 - 3) 競技開始前の競技説明 (適用する競技規則、ローカルルール、注意事項)
- *今回は WEB 配信 (プレゼン画面+ナレーション (日本語)) (視聴確認有)**
- 4) スターター
 - 5) 競技記録の確認及び承認。選手を呼んで直接確認。
 - 6) TO ミーティングでの競技規則違反者裁定 (警告/失格) と公表

◆以下、各競技パート留意点は各パートチーフからのパート運営マニュアルと合わせて考慮ください。

4. ちびっこファミリー担当

○リーダー : 三井はるみ (兼任)

- 1) トランジション TO をはじめ、スイム TO,ラン TO,と協力して安全、円滑に競技実施をお願いします。
- 2) ちびっこ対応時間以外は、COVID19 対策委員活動をお願いします。

5. スイム担当

○チーフ : 宮城信隆

○サブチーフ : 青山英司

- 1) 競技開始前の水温・気温計測と本部へ報告 (7:30 (レース開始 1 時間前)、掲示板に計測開示)
- 2) 各カテゴリースタート位置を事前にマーキングする。
***2 ページ競技距離参照 *今回新距離スーパースプリント:(従来 400m →375m)**
- 3) 召集→アンクルバンド配布→整列→簡易説明→1 人づつローリングスタートの流れで行う。
***レースナンバーはスイムキャップに表示、カテゴリとレースナンバー対比確認**
***整列～スタートまでできるだけ選手間の距離をとるように指導。**
***飛び込み禁止、他者に触らないように、おしゃべり禁止の指導**
- 4) 入水選手人数確認 (アンクルバンド装着方法指導確認) ⇒ネオさんとの連携による DNS 集計
***キッズ低学年ではアンクルバンドの装着に時間がかかる⇒装着をできるだけ触れずにサポートする**
***プールサイド周辺でキッズ選手と保護者との切り離しができず混乱しないように...**
⇒昨年同様、選手以外立ち入ることのできないエリア (柵等で囲う) をスイム会場に設置する
- 5) スイムウォーミングアップ及びスイムコースでの安全監視。必要に応じて入水要員配置。
- 6) プールサイドスタートのローリングウェーブスタートプロトコル (1 名づつ) に準じます。
- 7) 出水選手人数確認 (リタイア選手確認) ⇒ネオさんとの連携による DNS 集計
- 8) トランジションエリアまでの陸上コース監視 (観客コントロール)

9) スイム競技審判

- *水中での活動が可能な準備をする。(水着、ウエットスーツ、ゴーグル、スイムキャップ、サンダル等)
- *長時間、低温時、強風時はウエットスーツ推奨、上には審判員ポロシャツ着用のこと。
- *フェースガード装着 *熱中症対策 *適宜交代休憩

6. バイク担当

- チーフ : 竹内 史
- サブチーフ : 清水英一

1) スーパースプリント、ウルトラスーパープリント対応のため2種類の折り返しを準備設営。

- *①②③スーパースプリント、ウルトラスーパープリント : 1周 1.67km (キッズ+170 m 目安)
- *④⑤ キッズ (小学生) 個人&キッズ親子 : 1周 1.5 km (片道 : 750 m 目安)

*別紙：バイク折り返し部分詳細図を参照ください。

*また対向する往復の選手どうしのできるだけ距離確保をお願いします。

*バイク試走 (7:35~8:05) が開始される 7:35 までにコース設営完成のこと

*例年オーバースピードの選手が見られます。下りコーナー進入箇所のコースを絞り、スピードが出過ぎないように、コーン等の配置対策をお願いします。

2) バイクコースと参加者用駐車場 (第1駐車場) の安全対策を図る。

⇒参加者用駐車場 (第1駐車場) の入退場ゲートにスタッフを配置し誘導する。

*入場の際に駐車スペースを指示、退場の際に誘導する (必要があれば他パートからも応援要請する。)

*本大会終了後、プールにて。オープンウォーター水泳が実施されるため、駐車場への入庫があります。

3) バイク先導、最後尾追跡

4) 危険箇所での選手誘導、スローダウン呼びかけ。

5) 危険走行、ドラフティング、キープレフトのチェック

*ドラフティングゾーンは前方選手の前輪先端から後方へ 10m の範囲に 20 秒以上とどまる。

6) 万一の事故対応、リタイア選手への対応

7) 観客・駐車場への移動 (横断) 者のコントロール (コーナー等でのふくらみ部分に観客を入れない。)

8) バイク競技審判

*先導及び最後尾担当 TO はバイク、ヘルメットを用意お願いします。交代要員必要。

*キッズ・親子の部と一般(高校生以上)・一般チャレンジ・ジュニアの部間で折返し移動を行う。

*競技開始前に、コース路面状況の確認をお願いします。危険な砂、小石、異物は竹ほうきで清掃。

*危険箇所にはコーンやテープ等で養生し、レース中は、注意喚起する。

*キッズ高学年2周回は周回相違が発生しやすいので、できれば2周先導する。

7. ラン担当

- チーフ : 鶴見耕市
- サブチーフ : 岩田聖市

1) スーパースプリント、ウルトラスーパープリント対応のため2種類の折り返し設営をお願いします。

- *①②③スーパースプリント、ウルトラスーパープリント : 1周あたり 1.25km (片道 : 625 m 目安)
- *④⑤ キッズ (小学生) 個人&キッズ親子 : 1周 1 km (片道 : 500 m 目安)

*対向する往復の選手どうしのできるだけ距離確保をお願いします。

特に折返し付近の往復が接近する箇所はコーン等で接近が少なくとも1.5m以上離れるように中央分離帯を設けるように配置ください。

*別紙：ラン周回コース距離目安、折り返し詳細図を参照ください。

2) ラン先導

3) 最終選手の確認

*できるだけフィニッシュ経験をしていただきたいため、極端に遅い選手（初心者）が存在した場合TD、HRまでお知らせください。安全の範囲内で、中止、継続の判断をいたします。

4) 選手、観客の誘導

*ランコースと参加者用駐車場(プリンスホテル駐車場)の安全対応を図る。

⇒参加者用駐車場(プリンスホテル駐車場)の入退場ゲートにスタッフを配置する。

⇒参加者用駐車場へ向かう際のコース横断を監視するスタッフを配置する。

*目線が低く視野が狭くなりがちなキッズは時としてあらぬ方向へ走ってしまう。

⇒コーン&コーンバー、粘着テープによる矢印を用いキメ細やかにコース設営を行う

5) 折り返し点周回チェック（自己責任管理を指導）

*本年は、選手との接触を避けるため輪ゴムによる周回マーキングを行いません。

⇒2周回なのは一般の部(高校生以上)スーパースプリントディスタンス 2.5kmのみ

6) 選手のナンバーカード表示の注意

7) 体調不良及びリタイア選手の確認（緊急性のない場合、担架などは使用しない。）

8) ラン競技審判

*先導及び最後尾担当 TO は、バイクとヘルメットを用意をお願いします。交代要員含む

*キッズ・親子の部と一般(高校生以上)・一般チャレンジ・ジュニアの部の間で折返し移動を行う。

*ランエイドでの使用済みコップの廃棄は、ビニール袋設置ゴミ箱への確実に投入を義務付けます。そのように指導をお願いします。スタッフも廃棄物に不用意に触らないように管理をお願いします。

8. トランジション担当

○チーフ : 浅野拓哉

○サブチーフ : 花井 哲

- 1) 許可者以外（保護者も立ち入り禁止）のエリア立入禁止の徹底
- 2) バイク・用具セッティング時の確認、指導 *バイクセッティングの際、向きを間違えることが多い
- 3) エリア内でのバイク乗車禁止の徹底
- 4) ヘルメットの確認（規定外のヘルメット使用していないか）
- 5) ヘルメット・ストラップ着用の監視
- 6) レースウェアおよびレースナンバー表示の注意、指導
- 7) ペットボトル装着のチェック（専用ケージを除く、ただしキャップを外すものは不可）
- 8) バイク乗車ライン・降車ラインでの注意、警告
- 9) ラン開始時のシューズの確認（はだしは禁止）
- 10) 体調不良選手の確認、リタイア選手の確認と連絡
- 11) 親子の部リレー引継ぎの監視

12) バイクピックアップ時のレースナンバー確認

*バイクピックアップに証明するものを持たない保護者がきて審判員と問答する場面が多い

⇒基本は選手本人がピックアップに来ること。保護者などが代行する場合は、レースナンバー等証明になるものの持参を促す。これらを選手説明会の際に伝える

9. フィニッシュ担当

○チーフ : 伊藤功顕

○サブチーフ : 小原博史

1) 着順判定 (フィニッシュライン上)

2) レースナンバー表示確認 (レースナンバー向き、なし、サングラス外す、指導)

3) フィニッシュ選手人数・リタイア選手・タイムオーバー選手の集計確認 (ネオさん協力)

4) アンクルバンドの回収

*今回は、接触を極力避けるため自身での外しを指導 (用意した箱に入れてもらう)

5) 体調不良選手の確認

6) エイドステーション (フィニッシュエリア) の管理

*フィニッシュでは、未開栓の水ペットボトルと新しい不織布マスクを渡します。

7) エイドステーション (ラン折返し、トランジションからの合流地点) の管理

*コップを配置し手渡しはしない。不用意に触ったコップの撤去

*ランパート TO と協力して使用済みコップの廃棄 (確実にゴミ箱に入れる) 指導

8) フィニッシュ後の導線確保

*アンクルバンド返却場所に保護者や観客で人溜りができ人が密にならないようにフィニッシュエリアから速やかに移動するように指導する。

別紙資料

・コース図

・コース・会場作成参考資料

2020Iso_Course_Check_Point (コースサイン_計測体制図_会場図)_0902.pdf

・RUN SHEET